

陳 情	受 理 番 号	28	受 理 年 月 日	令和3年11月24日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	PCR検査に関する陳情書					

PCR検査に関する陳情書

いつも市民の為にご苦勞頂きまして、ありがとうございます。

(理由・背景)

1. PCR検査は鼻の奥に綿棒を差し入れ、鼻咽頭液を取り(唾液の場合もあり)、それを専用装置にかけてウイルス遺伝子を複製するよう努め、その後実際に増えているのかを判定する検査です。

仮に新型コロナに感染しても、常に鼻咽頭にウイルスが豊富にいるわけではないので、ウイルスが少ない時期だと綿棒ですくい取れず「偽陰性」になってしまうこともある。正しい時期に検査しても「偽陰性」率は30%程度と言われており、ウイルスが少ない時期の検査だとさらに確率が上がります。

また、PCR検査には問題点がいくつかあります。

①交差反応といって、他のウイルスにも似たような遺伝子配列があり、検査によってこの似たようなウイルスも拾ってしまい「偽陽性」になってしまうこともある。変異が多いウイルスであればあるほど交差反応が起きやすい。

②PCR検査キットのメーカーも注意書きに「インフルエンザウイルス」「アデノウイルス」「マイコプラズマ」「クラミジア」などの他のウイルスの影響を受けると記載されている。

③公式見解として「検査キットは目的のみに使用すること。(感染の)診断結果として使用してはいけない」とあります。

2. 「PCR検査による陽性」と「感染(発症していること)」は違うということを厚生労働省とWHOも認めている。

厚生労働大臣官房危機管理・医療技術総括審議官が国会答弁で「PCR検査陽性＝ウイルスの感染性の証明ではない」と答弁しています。

記

(願意・要望)

PCR検査を拒否した場合、登園・登校や部活動への参加を制限されるような、子どもの教育を受ける権利を害するような行為をしないよう努力してください。